

令和5年度
秋の
特別企画展

万葉植物と色の世界

万葉植物が織りなす、うるわしき色と歌

令和5年 8月23日(水) ~ 11月27日(月) ※火曜日休館

朝ドラ「らんまん」
好評です!

— 同時開催 —
〈特別展示室〉

牧野富太郎

幻の『万葉植物図譜』の歌世界2



(水島南平「ツユクサ」個人蔵)

展示協力・画像提供 練馬区立牧野記念庭園

高岡市万葉歴史館

〒933-0016 富山県高岡市伏木一宮1-11-11 電話:0766-44-5511 FAX:0766-44-7735
●開館時間 4月~10月:午前9時~午後6時、11月~3月:午前9時~午後5時 ※入館は閉館の45分前まで
●観覧料 一般…300円、中学生以下…無料、65歳以上…240円、団体(20名以上)…240円



高岡市万葉歴史館



万葉植物が織りなす、うるわしき色と歌

万葉植物とは万葉集に登場する植物のことで、万葉集には、約160種類の植物が詠まれています。こうした万葉植物による草木染めによって生み出された日本の伝統色も多く、聖徳太子が制定した「冠位十二階」では、身に着ける服装の色によって位色（地位や身分を示す色）をあらわすようになりました。その後も位色は、中国から取り入れた律令制のなかで幾度か改変があり、「養老律令」（大宝元年[701]制定「大宝律令」を養老2年[718]に修正したもの。天平宝字元年[757]施行）の衣服令で定められた色が、その後の当色（身分や位階に相当した色）の基準になっていきます。

本展では、日本人に深く根付く万葉時代に育まれたの色の世界を、館蔵の井関古都路万葉草木染めコレクションや山口千代子万葉衣装コレクションを通じて、万葉歌と共に展示します。

また、特別展示室では「牧野富太郎 幻の『万葉植物図譜』の歌世界2」と題して、練馬区立牧野記念庭園の全面的協力を得て、『万葉植物図譜』のなかから秋冬の万葉植物を中心にした植物図の複製原画を展示、牧野博士と『万葉集』の関わりを紹介しています。

令和5年 8月23日(水)～11月27日(月) ※火曜日休館

万葉植物と色の世界

令和5年度秋の特別企画展

期間中のイベント

2023高岡万葉セミナー「万葉に歌われた草花」

9月2日(土)13時～16時25分 受講料2000円(学生1000円)

- 第1講 万葉集の植物と植物群落
服部 保氏(兵庫県立南但馬自然学校学長・兵庫県立大学名誉教授)
 - 第2講 秋草のさびしき極み—万葉集恋歌の表現と草花—
影山 尚之氏(武庫川女子大学教授)
- ※定員/先着120名、要事前申し込み



令和×万葉
TAKAOKA

同時開催〈特別展示室〉

牧野富太郎

幻の『万葉植物図譜』の歌世界2



展示協力・画像提供 練馬区立牧野記念庭園

(水島南平「ツユクサ」個人蔵)

担当研究員によるギャラリートーク

- 10月7日(土)10時30分～ ※高岡万葉まつり期間中
- 11月3日(金・祝)14時～



山口千代子制作の美しい衣装で万葉の歌世界を楽しもう!

万葉衣装体験

9月16日(土)～18日(月・祝)9時～16時 ※受付は15時30分まで

- 衣装体験料金 1回1名300円(30分まで) ※別途、観覧料が必要です



一交通のご案内

- ◆最寄り駅 JR 氷見線 伏木駅から
【当館までの距離 約1.5km】タクシーで約5分、徒歩約25分
- ◆JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅から
【バス】高岡駅前(北口)バスのりば のりば④
加越能バス伏木方面(西回り)・伏木方面(東回り)のいずれかに乗車(約30分)し「伏木一の宮バス停」で下車、徒歩約7分
- 【タクシー】約20分
※「北陸新幹線 新高岡駅」と
「JR・あいの風とやま鉄道 高岡駅」の間は、10分間隔でバス便があります。(所要時間約10分)
- ◆お車で
【能越自動車道】高岡北インターから約20分、高岡インターから約25分
【北陸自動車道】小杉インターから約35分、高岡砺波スマートインターから約35分



高岡市万葉歴史館

〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮 1-11-11 電話 0766-44-5511 FAX 0766-44-7335
E-Mail: manreki@takaoka-bunka.com https://www.manreki.com

歴史館の最新情報、日々の出来事はツイッターで 家持くん @manreki いけぬし君 @ikenushi おおいらつめちゃん @oiratsume